

1. 東濃地域の取り組みについて

○概要 R6年度の調査結果に基づき、本年度は東濃5市及び下呂市によるコンソーシアムを編成して事業を実施する。

○経緯 コンソーシアムを締結することにより、全体事業費の大幅な抑制、事業実施の効率化、予約アプリ・監視システムの共同開発利用、実証・調査結果の情報共有、地域公共交通の課題解決に向けた連携、各市事務手続きの負担軽減、リニア開業に向けた機運の醸成など、様々なメリットがある。また、自動運転事業において市域をまたぐ広域コンソーシアム締結は、全国でも初の試みとなる。代表市は恵那市。

○経過

・R6.2.8	「東濃地域自動運転特区推進プロジェクトチーム」発足 (構成メンバー：副知事、6市首長他)
・R6年度	岐阜県自動運転社会実装推進調査業務実施 (岐阜県、多治見市、瑞浪市、恵那市、土岐市、下呂市) (※中津川市は個別に申請)
・R6.11.23	恵那市自動運転EVバス体験試乗会実施
・R7.4.11	「東濃地域自動運転推進協議会」発足 (構成メンバー：6市担当課長、岐阜県は顧問)
・R7.4月	コンソーシアム共同事業者のプロポーザル実施
・R7.5.8	「東濃地域自動運転推進コンソーシアム」協定締結 (恵那市、多治見市、中津川市、瑞浪市、土岐市、下呂市、NTT西日本 岐阜支店)
・R7.5.12	国交省補助金応募申請

○今後

・R7.6月	国交省補助金内示予定
・R7.7.14	「東濃地域自動運転推進コンソーシアム」協定締結披露式
・R7.7月	第1回地域コミッティ開催予定
・R7.7月～	実証運行に向けた調整準備
・R7.9月～	実証運行(レベル2)

2. 補助金について

○国交省補助金

地域公共交通確保維持改善事業費補助金(自動運転社会実装推進事業)

- ・重点支援事業 4/5(補助上限300,000千円) → 東濃地域申請
- ・一般支援事業 4/5(補助上限100,000千円)

3. 恵那市の実証実験(レベル2)について

運行ルート	運行日数	予定車両
岩村駅→城下町→歴史資料館	約2週間	エヴォ

4. 車両イメージ

